

APQC PCF活用WG

～ Cross-Industry PCF Ver7.2.1 ～

2021年度ワーキンググループ活動趣意書
推進者氏名 黒坂武祐

■背景となる問題意識

- ▶ 諸外国がグローバル標準のプロセス参照モデルを利用し業務改革をステークホルダーとプロセス思考で進めているにも関わらず、日本国内では今だローカライズされた属人的な経験を頼りに箱物優先で業務改革を進めている。
- ▶ 自社のビジネス全体のみならず、未経験の他社のビジネスについて、ビジネスモデルや業務プロセスを客観的に把握することは現状かなり難しいと考えられている。
- ▶ 業務改革・業務改善を成功させるには、解決策(ソリューション=How)に囚われることなく、ニーズ・課題といった「背景(=Why)」を理解し、本当に必要とされる「有用なこと、有用な機能は何か(=What)？」を明らかにする活動の重要性は益々高まっている。

■目的

- ▶ プロセス参照モデルを理解し、実際の業務改革(AsIsとToBe)に利用できる事を理解する。
- ▶ プロセス参照モデルの内容を理解する。

■成果物定義

- ▶ PCFの翻訳および内容精査結果
- ▶ PCFを理解し業務改革に利用できることを理解した人
- ▶ 今後取り組むべき課題 (Option)

- 毎月1回の作業会合を開催し、下記の作業を実施する。
- 毎回の会合時間は基本的に16:00-18:00(参加者と協議の上で決定予定とする)とする。
- 会合は原則、オンライン会議とする。
- 毎回の会合の後に懇親会を実施し人的ネットワークの強化を図る(コロナ状況次第)。
※ オンサイトの場合、幹事は持ち回り制とし、会合場所の確保、会合案内、出欠確認を担当する。
- 会合テーマ(例) 参加者と協議の上で決定予定
 1. PCFの翻訳と内容精査
 2. 有識者(PDE社 渡辺氏)との意見交換(質疑応答)
 3. プロセス参照モデル適用企業との意見交換(質疑応答含む)
 4. PCFの活用シナリオ検討
 5. 今後取り組むべき課題

スケジュール

	2021年												2022年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
メンバー募集	■													
PCF翻訳および内容精査と討議			■											
有識者(PDE社 渡辺氏)との意見交換								■						
プロセス参照モデル適用企業との意見交換(質疑応答含む)										■				
PCFの活用シナリオ検討												■		
今後取り組むべき課題													■	
検討内容のまとめ													■	